

第 56 期

事 業 報 告 書

(平成17年 8 月 1 日から)
(平成18年 7 月31日まで)



株式会社 **イチヤ**

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成18年7月31日をもちまして、第56期（平成17年8月1日から平成18年7月31日まで）を終了いたしました。

当連結会計年度におきましては、グループとして事業規模を拡大するべく、連結子会社4社、持分法適用関連会社1社を新たにグループ会社に加え、また、投資事業による大幅な投資収益により、前連結会計年度と比べて売上高は増大いたしました。しかしながら、当連結会計年度より適用となる減損損失を計上したこと等により、大幅な純損失を計上しております。

また、第55回定時株主総会において、決議頂いた第4回新株予約権の順調な権利行使により、計画しておりました借入金の全額を返済したことにより、財務状況は大幅に改善されております。

今後とも、M&A等によるグループとしての事業規模拡大を図り、既存事業の強化ならびに不採算事業の撤退により、安定した収益を達成できる企業に向け鋭意努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年10月

代表取締役社長 吉岡 公和

事業の状況（事業の経過および成果）

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績の改善を背景とした設備投資の増加および雇用情勢などの改善の兆しが見られ、個人消費も緩やかに増加し、景気は堅調に推移いたしました。

このような経済状況のなか、当社グループは、本業である紳士服専門の衣料事業、焼肉店の飲食事業をはじめ不動産事業および投資事業ならびにプライダル事業に取り組んでまいりました。

衣料事業に関しましては、お客様のニーズと新鮮さを追求した商品開発や新たな取り組みとして、既存店舗をリニューアルし、体の大きな方の専門店「キングセレクト」をオープンいたしました。スーツからカジュアルまでの幅広い商品を2Lから最大10Lまで取り揃えることで、地域一番店としてお客様にご好評を頂いております。こうした取り組みの結果、売上高は増収を達成することができましたが利益を改善するまでには至らず、依然として厳しい状況が続いております。

飲食事業に関しましては、外食産業全体を取り巻く客単価の下落や来店客数の減少など構造的な不況に悩まされるなか、企業間競争はますます激しさを増しております。米国産牛肉が輸入再開したものの、依然牛肉価格は高値のまま推移しており、業界を取り巻く環境は、厳しい状況が続いております。こうしたなか、当社は季節メニューの開発や肉類のロス管理を行うことにより集客向上ならびに粗利益の改善に努めたものの、食材原価の上昇を吸収するには至りませんでした。

不動産事業に関しましては、賃貸業務中心の活動であったため業績への貢献は少額でしたが、来期に向けて既に仕入れている分譲土地の造成工事を完了させる事ができ、平成18年7月より本格販売に向けての事前予約を承り、同年9月より本格販売を開始しております。

投資事業に関しましては、企業業績の改善、デフレ経済からの脱却ならびに構造改革への期待を受けて、国内株式市場は、堅調に推移いたしました。こうしたなか、当社の投資事業につきましては、短期運用目的の上場株式投資により有価証券運用益を獲得できたことにより大幅な業績への貢献ができました。また、当連結会計年度末には、株式会社森投資パートナーズを営業者とする匿名組合への出資について、重要性が増してきたことから連結対象といたしました。

ブライダル事業に関しましては、連結子会社の株式会社セレストが、レストランウェディングの企画、運営事業を行っております。国内のブライダルマーケットにおきましては、挙式披露宴を行う二人中心のスタイルが一般化しており、お客様の選択の厳しさが増しております。こうしたなか、結婚する二人の「ふたりらしさ」を追求するべく、担当プランナーがお客様とのヒアリングを重ねることで、お二人の嗜好に確実に応えてできる挙式披露宴を提供することによりお客様の支持を得ております。

その他事業に関しましては、連結子会社の有限会社カーサが、平成18年2月高知市においてペット霊園をオープンいたしました。また、平成17年9月に当社の連結子会社となった株式会社V O U Sは、美容サロンの経営を行っており、平成18年6月東京都港区南青山に新店舗をオープンしております。

その他、平成18年1月にはロシア連邦のサハ（ヤクーチア）共和国において、金の採掘権を所有し採掘事業を行っている株式会社サハプロトへ出資を行い持分法適用関連会社といたしました。また、平成18年5月には、オーストラリアのニューサウスウェールズ州において、金の踏査権利を9箇所保有しているChampion Resources Limited（チャンピオンリソース株式会社）（平成18年8月にAugur Resources Limited（オウガリリソース株式会社）に社名変更）の株式80%を取得し、連結子会社といたしました。

これらの結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高1,876百万円（前連結会計年度比170%増）、経常損失151百万円（前連結会計年度経常損失497百万円）となりました。また、当連結会計年度より強制適用となる減損会計による減損損失を865百万円計上したことにより当期純損失1,088百万円（前連結会計年度当期純損失925百万円）となりました。

その他、上海華源股份有限公司との業務提携に伴う合弁会社設立につきましては、同社の諸問題により計画が大幅に遅れており、設立に向けて再三催促したものの具体的な進展が見込めないと判断し、合弁会社設立の中止ならびに業務提携を解消しております。

なお、当連結会計年度における当社の資金調達の状況に関しましては、平成17年4月20日発行の第3回新株予約権の権利行使により1,100百万円、平成17年11月17日発行の第4回新株予約権の権利行使により7,080百万円の資金調達を行うことができました。これにより、計画しておりました借入金全額を返済し、財務状況は大幅に改善しております。

対処すべき課題

今後の経済見通しにつきましては、国内景気は引き続き回復基調が続くものと予想されますが、不安定な世界情勢や原油価格の高騰は継続しており、内外経済に与える影響等、不透明感を払拭できない状況です。

このような経済状況のもと、当社グループは、安定的な収益基盤を確立するべく、既存事業の強化とM&A等により事業規模の拡大を目指してまいります。

衣料事業につきましては、体の大きな方の専門店「キングセレクト」が好評を得ていることから、他の既存店舗も他社との差別化を図るべく、専門特化した特徴ある店舗作りで集客に努めてまいります。

飲食事業につきましては、米国産牛肉の輸入再開により牛肉原価は徐々に引き下げられると予想されるものの、牛肉のみに頼らない、収益確保できる商品開発に力を入れ、一層の収益改善を図ってまいります。

不動産事業につきましては、大阪府堺市中区において平成18年9月より第1期（当社販売40区画）分譲土地の本格販売が開始しており、大幅な収益向上ができる見通しです。

投資事業につきましては、国内の景気回復を受けて、株式市場は安定的に推移していくものと見受けられます。しかしながら、投資事業には、固有のリスクが存在するものと認識しており、案件ごとに投資先およびマーケット状況の十分な情報収集を経て慎重に投資決定を行ってまいります。

ブライダル事業につきましては、更なるお客様の嗜好に確実に応えてできる挙式披露宴を提供することによりお客様の支持を得てまいります。

また、その他事業につきましては、各事業とも未だ事業構築の時期であり、早期の収益貢献にむけて鋭意努力してまいります。

業績の推移

企業集団の財産および損益の状況の推移

区 分 \ 期 別	第 53 期 平成15年 7 月期	第 54 期 平成16年 7 月期	第 55 期 平成17年 7 月期	第 56 期 平成18年 7 月期
売上高 (千円)	856,560	743,325	694,356	1,876,446
当期純損失 (千円)	562,766	685,110	925,101	1,088,227
1 株当たり当期純損失 (円)	8円94銭	8円16銭	5円45銭	1円30銭
総資産 (千円)	2,932,485	2,956,547	4,286,137	10,341,169
純資産 (千円)	1,142,969	1,357,570	3,041,336	10,073,395
1 株当たり純資産額 (円)	16円63銭	12円97銭	9円17銭	8円76銭

- (注) 1. 1 株当たり当期純損失は、期中平均発行済株式数により算出しております。
 なお、期中平均発行済株式数については、自己株式数を控除して算出しております。
2. 第56期より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第 5 号 平成17年12月 9 日）および「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準適用指針第 8 号 平成17年12月 9 日）を適用しております。

当社の財産および損益の状況の推移

区 分 \ 期 別	第 53 期 平成15年 7 月期	第 54 期 平成16年 7 月期	第 55 期 平成17年 7 月期	第 56 期 平成18年 7 月期
売上高 (千円)	784,257	743,139	694,356	1,407,834
当期純損失 (千円)	545,548	675,749	924,402	1,245,441
1 株当たり当期純損失 (円)	8円67銭	8円05銭	5円44銭	1 円48銭
総資産 (千円)	2,922,718	2,981,183	4,286,940	10,050,759
純資産 (千円)	1,133,338	1,357,300	3,041,765	9,915,207
1 株当たり純資産額 (円)	16円49銭	12円97銭	9円17銭	8円62銭

- (注) 1. 1 株当たり当期純損失は、期中平均発行済株式数により算出しております。
 なお、期中平均発行済株式数については、自己株式数を控除して算出しております。
2. 第56期より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第 5 号 平成17年12月 9 日）および「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準適用指針第 8 号 平成17年12月 9 日）を適用しております。
3. 第56期は、投資事業による売上が貢献し増収となりましたが、減損会計による減損損失を計上したこと等により当期純損失が増加しております。また、新株予約権が順調に行使されたことから、総資産、純資産とも大幅に増加いたしました。

事業別売上高および構成比

事業別	第 55 期 平成16年 8 月 1 日から 平成17年 7 月31日まで		第 56 期 平成17年 8 月 1 日から 平成18年 7 月31日まで		前連結 会計年度比 増減率 (△は減)
	売上高	構成比	売上高	構成比	
衣料事業	268,960千円	38.7%	309,632千円	16.5%	15.1%
飲食事業	365,690	52.7	380,586	20.3	4.1
不動産事業	51,205	7.4	35,987	1.9	△ 29.7
投資事業	—	—	681,588	36.3	—
ブライダル事業	—	—	372,972	19.9	—
その他事業	8,500	1.2	95,679	5.1	1,025.6
合計	694,356	100.0	1,876,446	100.0	170.2

(注) 第55期のその他事業の売上高は、投資事業による売上高です。

企業集団の主要な事業内容 (平成18年 7 月31日現在)

事業別	事業内容
衣料事業	紳士服販売店 5 店舗の運営
飲食事業	焼肉店 4 店舗の運営
不動産事業	賃貸事業、土地・建物の販売
投資事業	上場株式等の有価証券投資
ブライダル事業	レストランウェディングの企画運営
その他事業	ペット霊園の経営、美容サロン 1 店舗の運営、 金の採掘、鉱物踏査

連結貸借対照表

(平成18年7月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	7,874,030	流 動 負 債	235,400
現金及び預金	5,326,581	買 掛 金	32,630
受取手形及び売掛金	19,651	短 期 借 入 金	12,046
商品有価証券	541,588	1年内返済予定長期借入金	2,194
たな卸資産	192,613	未 払 法 人 税 等	32,691
販売用不動産	782,562	賞 与 引 当 金	4,000
短期貸付金	864,055	そ の 他	151,837
そ の 他	147,146	固 定 負 債	32,374
貸倒引当金	△ 168	長 期 借 入 金	204
固 定 資 産	2,467,138	そ の 他	32,170
有形固定資産	1,386,438	負 債 合 計	267,774
建物及び構築物	891,764	純 資 産 の 部	
減価償却累計額	△ 503,201	株 主 資 本	10,133,058
土 地	962,047	資 本 金	9,223,047
そ の 他	152,769	資 本 剰 余 金	4,090,000
減価償却累計額	△ 116,941	利 益 剰 余 金	△ 3,179,438
無形固定資産	221,155	自 己 株 式	△ 550
投資その他の資産	859,544	評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 62,712
投資有価証券	525,654	その他有価証券評価差額金	△ 61,066
長期貸付金	31,700	為替換算調整勘定	△ 1,646
長期前払費用	71,828	少 数 株 主 持 分	3,049
敷 金	203,090	純 資 産 合 計	10,073,395
そ の 他	49,143	負 債 ・ 純 資 産 合 計	10,341,169
貸倒引当金	△ 21,872		
資 産 合 計	10,341,169		

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(平成17年8月1日から
平成18年7月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		1,876,446
売 上 原 価		713,830
売 上 総 利 益		1,162,615
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,320,551
営 業 損 失		157,936
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	40,607	
受 取 配 当 金	2,055	
そ の 他	4,337	46,999
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	7,852	
持 分 法 に よ る 投 資 損 失	32,110	
そ の 他	514	40,477
経 常 損 失		151,413
特 別 利 益		
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	22,329	
そ の 他	200	22,529
特 別 損 失		
投 資 有 価 証 券 評 価 損	23,763	
固 定 資 産 除 却 損	7,633	
新 株 発 行 費	74,469	
減 損 損 失	865,165	971,031
税 金 等 調 整 前 当 期 純 損 失		1,099,916
法人税、住民税及び事業税		7,853
過年度法人税、住民税及び事業税		4,646
少 数 株 主 持 分 損 失		24,188
当 期 純 損 失		1,088,227

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(平成17年8月1日から
平成18年7月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成17年7月31日残高	5,133,047	1,276,620	△ 3,367,831	△ 499	3,041,336
連結会計年度中の変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	4,090,000	4,090,000			8,180,000
資本準備金取崩額		△ 1,276,620	1,276,620		—
当期純利益			△ 1,088,227		△ 1,088,227
自己株式の取得				△ 51	△ 51
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動 額(純額)					—
連結会計年度中の変動額 合計	4,090,000	2,813,380	188,392	△ 51	7,091,721
平成18年7月31日残高	9,223,047	4,090,000	△ 3,179,438	△ 550	10,133,058

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成17年7月31日残高	—	—	—	—	3,041,336
連結会計年度中の変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)					8,180,000
資本準備金取崩額					—
当期純利益					△ 1,088,227
自己株式の取得					△ 51
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動 額(純額)	△ 61,066	△ 1,646	△ 62,712	3,049	△ 59,662
連結会計年度中の変動額 合計	△ 61,066	△ 1,646	△ 62,712	3,049	7,032,058
平成18年7月31日残高	△ 61,066	△ 1,646	△ 62,712	3,049	10,073,395

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

I. 連結貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

620,143千円

II. 連結損益計算書に関する注記

減損損失

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

場 所	用 途	種 類	減損損失(千円)
高知県高知市計 2 件	衣料事業（販売店舗）	建物及び土地	197,990
高知県高知市計 2 件	飲食事業（店舗）	建物及び土地	315,146
高知県高知市計 3 件	不動産事業（賃貸不動産）	建物及び土地	74,360
高知県高知市計 3 件	その他（本社他）	建物及び無形固定資産	277,666

III. 連結株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式の総数に関する事項

(単位：株)

株 式 の 種 類	前連結会計年度 末 の 株 式 数	当連結会計年度 増 加 株 式 数	当連結会計年度 減 少 株 式 数	当連結会計年度 末 の 株 式 数
普通株式	331,760,884	818,000,000	—	1,149,760,884

(注) 発行済株式数の増加は、平成17年 4 月20日発行の第 3 回新株予約権の権利行使、平成17年 11月17日発行の第 4 回新株予約権の権利行使による増加分であります。

2. 自己株式の数に関する事項

(単位：株)

株 式 の 種 類	前連結会計年度 末 の 株 式 数	当連結会計年度 増 加 株 式 数	当連結会計年度 減 少 株 式 数	当連結会計年度 末 の 株 式 数
普通株式	14,483	2,877	—	17,360

(注) 自己株式の数の増加は、単元未満株式の買取りによる増加分であります。

3. 当連結会計年度末日における新株予約権に関する事項

	第 4 回新株予約権（平成17年11月17日発行分）
目的となる株式の種類	普通株式
目的となる株式の数	92,000,000株
新株予約権の残高	92,000個

IV. 1 株当たり情報に関する注記

① 1 株当たり純資産額

8円76銭

② 1 株当たり当期純損失

1円30銭

貸借対照表

(平成18年7月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	5,989,537	流 動 負 債	103,382
現 金 及 び 預 金	4,747,992	買 掛 金	24,786
売 掛 金	8,165	未 払 金	15,355
商 販 用 不 動 産	153,035	未 払 法 人 税 等	32,340
店 舗 食 材	782,562	未 払 費 用	11,429
貯 蔵 品	12,839	預 り 金	1,349
前 渡 金	2,573	賞 与 引 当 金	4,000
短 期 貸 付 金	72,597	そ の 他	14,120
前 払 費 用	183,936	固 定 負 債	32,170
そ の 他	26,165	預 り 敷 金	31,920
貸 倒 引 当 金	32,912	そ の 他	250
固 定 資 産	4,061,222	負 債 合 計	135,552
有 形 固 定 資 産	1,257,503	純 資 産 の 部	
建 物	257,671	株 主 資 本	9,976,273
構 築 物	24,404	資 本 金	9,223,047
車 両 運 搬 具	1,040	資 本 剰 余 金	4,090,000
器 具 及 び 備 品	12,338	資 本 準 備 金	4,090,000
土 地	962,047	利 益 剰 余 金	△ 3,336,223
無 形 固 定 資 産	2,446	そ の 他 利 益 剰 余 金	△ 3,336,223
電 話 加 入 権	195	繰 越 利 益 剰 余 金	△ 3,336,223
ソ フ ト ウ ェ ア	1,944	自 己 株 式	△ 550
特 許 権	307	評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 61,066
投 資 そ の 他 の 資 産	2,801,272	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 61,066
投 資 有 価 証 券	328,621	純 資 産 合 計	9,915,207
関 係 会 社 株 式	437,328	負 債 ・ 純 資 産 合 計	10,050,759
関 係 会 社 社 債	124,671		
そ の 他 関 係 会 社 有 価 証 券	1,807,544		
出 資 金	1,642		
長 期 貸 付 金	327,720		
長 期 前 払 費 用	67,992		
敷 金	189,935		
そ の 他	16,117		
投 資 損 失 引 当 金	△ 260,473		
貸 倒 引 当 金	△ 239,827		
資 産 合 計	10,050,759		

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成17年8月1日から
平成18年7月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		1,407,834
売 上 原 価		403,148
売 上 総 利 益		1,004,686
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,017,692
営 業 損 失		13,005
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	42,166	
そ の 他	12,118	54,284
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	7,765	
そ の 他	219	7,984
経 常 利 益		33,293
特 別 損 失		
減 損 損 失	672,025	
固 定 資 産 除 却 損	7,152	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	23,763	
新 株 発 行 費	74,469	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	228,701	
投 資 損 失 引 当 金 繰 入 額	260,473	1,266,585
税 引 前 当 期 純 損 失		1,233,292
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		7,502
過 年 度 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		4,646
当 期 純 損 失		1,245,441

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(平成17年8月1日から
平成18年7月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
平成17年7月31日残高	5,133,047	1,276,620	△ 3,367,402	△ 499	3,041,765
事業年度中の変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	4,090,000	4,090,000			8,180,000
資本準備金取崩額		△ 1,276,620	1,276,620		—
当期純利益			△ 1,245,441		△ 1,245,441
自己株式の取得				△ 51	△ 51
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)					—
事業年度中の変動額合計	4,090,000	2,813,380	31,178	△ 51	6,934,507
平成18年7月31日残高	9,223,047	4,090,000	△ 3,336,223	△ 550	9,976,273

	評価・換算 差額等	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	
平成17年7月31日残高	0	3,041,765
事業年度中の変動額		
新株の発行 (新株予約権の行使)		8,180,000
資本準備金取崩額		—
当期純利益		△ 1,245,441
自己株式の取得		△ 51
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	△ 61,066	△ 61,066
事業年度中の変動額合計	△ 61,066	6,873,441
平成18年7月31日残高	△ 61,066	9,915,207

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

I. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 609,854千円
2. 関係会社に対する金銭債権、債務は次のとおりであります。
 - (1) 短期金銭債権 183,881千円
 - (2) 長期金銭債権 430,691千円
 - (3) その他金銭債権 16,600千円
 - (4) その他金銭債務 605千円

II. 損益計算書に関する注記

1. 関係会社との取引高
 - (1) 売上高 3,771千円
 - (2) 仕入高 770,494千円
 - (3) 営業取引以外の取引高 27,117千円

2. 減損損失

当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

場 所	用 途	種 類	減損損失(千円)
高知県高知市計 2 件	衣料事業（販売店舗）	建物及び土地	197,990
高知県高知市計 2 件	飲食事業（店舗）	建物及び土地	315,146
高知県高知市計 3 件	不動産事業（賃貸不動産）	建物及び土地	74,360
高知県高知市計 3 件	その他（本社他）	建物及び無形固定資産	84,526

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 自己株式の数に関する事項

(単位：株)

株 式 の 種 類	前 事 業 年 度 末 の 株 式 数	当 事 業 年 度 増 加 株 式 数	当 事 業 年 度 減 少 株 式 数	当 事 業 年 度 末 の 株 式 数
普通株式	14,483	2,877	—	17,360

(注) 自己株式の数の増加は、単元未満株式の買取りによる増加分であります。

2. 当事業年度末日における新株予約権に関する事項

	第 4 回新株予約権（平成17年11月17日発行分）
目的となる株式の種類	普通株式
目的となる株式の数	92,000,000株
新株予約権の残高	92,000個

IV. 1 株当たり情報に関する注記

- ① 1株当たり純資産額 8 円62銭
- ② 1株当たり当期純損失 1 円48銭

会 社 の 概 況

(平成18年 7月31日現在)

社 名 株式会社イチヤ
I CHIYA CO., LTD.
設 立 昭和27年 6月24日
資 本 金 9,223,047,206円
本 社 高知県高知市帯屋町一丁目10番18号
営 業 店 舗 9店舗(直営店)
従 業 員 21名(パートタイマーは含んでおりません。)
主 要 な 営 業 所 本 社：高知県高知市
舗：紳士服イチヤ店 4店舗

平成18年9月に紳士服イチヤ南国店をリニューアルし、プライドル&フォーマル専門店「シェ アヴニール」をオープンしました。

キングセレクト店 1店舗
高知県 5店舗
焼肉牛藩店 4店舗
高知県 3店舗
埼玉県 1店舗

株 式 の 状 況

(平成18年 7月31日現在)

①発行可能株式総数 1,400,000,000株

(注)平成18年10月25日開催の第56回定時株主総会において、定款を変更し、発行可能株式総数を1,400,000,000株から3,000,000,000株に変更いたしました。

②発行済株式の総数 1,149,760,884株

(注)当事業年度における新株予約権の権利行使によって818,000,000株の新株発行を行い、当事業年度末の発行済株式の総数は1,149,760,884株となりました。

③ 1単元の株式数 1,000株

④株 主 数 40,982名

⑤大 株 主

株 主 名	当 社 へ の 出 資 状 況	
	持 株 数	出 資 比 率
	株	%
ニュークーパーグループリミテッド	70,000,000	6.09
タワースカイプロフィッツリミテッド	25,060,000	2.18
大阪証券金融株式会社(業務口)	23,650,000	2.06
谷川雄康	15,500,000	1.35
大和証券株式会社	7,493,000	0.65
ビー・エヌ・ビー・パリバ・セキュリティーズ(ジャパン)リミテッド	5,304,000	0.46
片岡房雄	3,585,000	0.31
磯村誠司	3,119,000	0.27
森田嘉宣	3,000,000	0.26
川野孝子	2,905,000	0.25

グループ会社の状況

(平成18年7月31日現在)

会 社 名	出資比率(%)	事 業 別	主な事業内容
[連結子会社]			
有限会社カーサ	100.0	その他事業	ペット霊園の経営
株式会社インターネットスーパー	100.0	その他事業	インターネットショッピングモールの運営(開設準備中)
株式会社VOUS	50.0	その他事業	美容サロンの経営
株式会社セレスト	50.0	ブライダル事業	レストランウェディングの企画・運営
Champion Resources Limited (チャンピオンリソース株式会社)	80.0	その他事業	オーストラリアにおける鉱物踏査
株式会社葵投資パートナーズ匿名組合	100.0	投資事業	有価証券等の投資運用
[持分法適用関連会社]			
株式会社アール・ティー・シー マネージメント	34.0	—	不動産業
株式会社サハプロト	50.0	—	ロシア連邦サハ共和国における金の採掘事業

- (注) 1. 株式会社FM-I Cは、平成17年11月14日に株式会社インターネットスーパーに社名変更いたしました。
2. Champion Resources Limited (チャンピオンリソース株式会社)は、平成18年8月23日にAugur Resources Limited (オウガーリソース株式会社)に社名変更いたしました。
3. 株式会社葵投資パートナーズ匿名組合については、業務執行権は有していないものの、重要性が高いことから連結対象としています。

取締役および監査役

(平成18年10月25日現在)

<取締役>

取 締 役 会 長	山	本	誠	三
代 表 取 締 役 社 長	吉	岡	公	和
取 締 役	曾	我	部	達
取 締 役	竹	崎	隆	一
取 締 役	橋	田	宗	人
取 締 役	山	本	真	嗣

<監査役>

常 勤 監 査 役	中	越	正	人
監 査 役	澤	本	正	二 郎
監 査 役	山	中	範	博
監 査 役	森	本	幸	伸

(注) 監査役のうち中越正人、澤本正二郎、山中範博の各氏は、社外監査役であります。

●株 主 メ モ

事業年度 定時株主総会 基準日 定時株主総会 期末配当 中間配当	毎年8月1日から翌年7月31日まで 毎年10月下旬開催 7月31日 7月31日 1月31日
公 告 方 法	電子公告により当社ホームページ (http://www.ichiya-group.co.jp/)に掲載いたします。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株 主 名 簿 管 理 人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-707-696（フリーダイヤル）
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
お 知 ら せ	住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。
ホームページのご案内	当社Webサイトにて最新のIR情報等をご覧頂けます。 http://www.ichiya-group.co.jp/